

平成 30 年度 第 1 回田原市総合教育会議 議事録

1 日時

平成 30 年 8 月 17 日（金） 午後 3 時 30 分～午後 4 時 3 分

2 場所

田原市役所 南庁舎 4 階 政策会議室

3 内容

- (1) 小中学校への空調機器設置について
- (2) 田原市ふるさと教育取り組み指針について
- (3) 報告事項（プリンス市への A L T 派遣要請及び福江高等学校の国際交流について）

4 出席者

市 長	山下 政良
教育委員会 教育長	花井 隆
教育委員会 教育長職務代理	金田 真也
教育委員会 委員	山本 明子
教育委員会 委員	土井 真紀江
教育委員会 委員	太田 孝雄

5 会議構成員以外の出席者及び事務局

企 画 部 長	石川 恵史
教 育 部 長	宮川 裕之
教育部中央図書館長	豊田 高広
企画部企画課長	大羽 浩和
教育部教育総務課長	伊藤 英洋
教育部学校教育課長	杉田 哲利
企画部企画課主幹	鈴木 真喜生
教育部教育総務課課長補佐兼係長	小久保 義則
教育部教育総務課主査	彦坂 幸子

6 傍聴人

2 名

7 協議の経過

（企画部長）

時間となりましたので、ただいまから平成 30 年度第 1 回田原市総合教育会議を始めさせていただきます。それでは、始めに、山下市長からご挨拶を申し上げます。

（市長）

それでは皆さん、こんにちは。大変暑い日が続いておりましたが、今日はちょっと過ごしやすいかと思います。テレビを見ておりましたら、台風、熱帯低気圧が太平洋側にあるということです。非常配備のことも考えながら、大きな災害がなければいいないつも思っています。

今日は、第 1 回の総合教育会議ということで、皆様方から忌憚のないご意見がいただきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

(企画部長)

ありがとうございました。

それでは、議事についての進行は、本会議の議長であります市長にお願いいたします。
市長、よろしく申し上げます。

(市長)

それでは、早速、議題に入っていきたいと思います。小中学校への空調機器設置について、事務局から説明をお願いします。

(教育総務課長から (1) について説明)

(市長)

ただいま、小中学校への空調機器設置について、事務局から説明がありましたけれども、これにつきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いしたいと思います。

今、ありましたように、来年の夏までに全校で設置を進めようということですが、ご意見がありましたらお願いします。

(金田委員)

泉中学校が統合になりますが、どういう考えでしょうか。

(教育総務課長)

まず、来年夏までの設置という考えでいきますと、来年4月に福江中学校との統合がございますので、伊良湖岬中学校は除きます。

続いて、現在の伊良湖岬小学校と泉中学校、さらには童浦小学校、この3校については、統合、または童浦小学校は大規模改修がございますので、それまでの間、移設可能な空調機器の整備をさせていただいて、統合、または改修の際にはそれを他校に追加で理科室、図工室等で使えるように移設していきたいと考えています。

(市長)

移設可能という言葉ですが、わかりやすく説明を。

(教育総務課長)

天井型とか、配管まで必要でないもの、取替えが可能といった移動式タイプのものを、今、考えています。

(市長)

購入して、全部、付けるのでしょうか。

(教育総務課長)

予定では、購入よりリースの方がおそらく安価になると考えられるので、そちらも検討してまいります。

(太田委員)

今年は、特に猛暑と言われて、マスコミでも話題になっておりますし、田原市が早急に動くということは大変素晴らしいと思います。ただ、夏休みの考え方も、今までだと9月1日から2学期ということですが、その年の天候によって柔軟に対応していくようなことも考え、設備だけでなく、運用における柔軟な対応も必要ではないかと考えます。

(市長)

夏休みの期間の、例えば、前倒し、延長というような考えですね。
できれば、そういう機会が。教育長会議がありますね。

(教育長)

教育長会議もありますが、その時点で、教育委員会の判断でできます。

(市長)

それは各市町の教育委員会ですか。

(教育部長)

はい。県は県としての方針はありますが、直近の教育委員会、または、学校によっては校長の判断で、例えば、豪雨の時の出校を控えるだとか、そういう判断も取れます。距離のある、通学に時間のかかるところもありますので、これは一番近いところの長で判断してもらうという権限が与えられています。

(市長)

田原の場合、例えば、中部と伊良湖では、全然、気温が違うと思います。その辺は、教育委員会の判断で、一斉にやるのかどうか。学校ごとの休みというのもおかしいような気もしますが。

(太田委員)

たぶん、温度はそんなに大きく変わらないんじゃないかと。かえって、暴風警報などで通学路の危険が考えられる場合とかは学校によってかわってきますけれども。

(市長)

それは一つとして、校長先生の判断ではなく、教育委員会の判断で、と言った方がいいのか。

(教育長)

太田委員さんが言われたように、天気予報は、結構、正確に出てきますので、明日すぐ休みにするというのではなくて、もう少し余裕を見てですね、9月第1週はひとまず1週間は休みにするというようなことは、教育委員会の方から出したいと思います。

(市長)

そういうことですね。わかりました。

あと、ランニングコストの考え方としてはどうですか。今の電気料金とどれくらい変わってくるのか。もちろん、使う日数によって違うとは思いますが。もし、想定でわかればお願いします。

(教育総務課長)

ランニングコストの件ですが、一番大きい田原中学校の場合で計算させていただきました。

おそらく13台程度の設置になるかと思いますが、1台あたりの電気料金が、約7700円程度になります。単純にエアコンの稼働日数を7.3ヶ月で算出をしました。その場合、小中学校23校で225の教室がございますので、そこにエアコンを教室に2台ずつ設置した場合に、約2530万円です。これがフル稼働した場合です。

夏休み、冬休み等の期間を除いた場合には、約1000万円程度下がり、約1660万円になります。

現在、空調機器を入れていない場合の電気料金が年間で約2000万円ですので、フル稼働し

た場合は、年間 4500 万円くらいになるということで、2500 万円ほど上がるという計算になっています。

(市長)

これはあくまで想定ですよ。2500 万円くらい上がるのではないかと。

(教育総務課長)

はい。単純計算ですので、これには、空調機器を入れたことによってキュービクルを入れなければいけないとか、そういった設備は含めておりません。

(市長)

よろしいですか。教育委員会としては、子どもの教育、身体ということを考えて、やっぱりエアコンは、今の段階ではどうしても必要ではないかと思われる。その辺の意思統一はいいですね。

(山本委員)

とてもうれしいことですね。

(土井委員)

今年のこの猛暑は、とてもつらいと思うので。

定例会でもありましたが、小中学校の先生たちのアンケートでも、エアコンに対して体の面で弱い子もいるので、そういう配慮というか、上着を着ることを許可するとか、そういった配慮も考えていただけるといいなと思うんですけど。

(市長)

そうですね。子どもさんによっては違うと思います。エアコンの近くだと寒いとか、当然あると思います。その辺は、学校で配慮してもらいたいと思います。

他にどうですか。よろしいですか。付けていくという方針でいきますので。

これに対して、皆さん異存はないと思います。併せて、夏休みの取り方も、教育委員会でまとめて、休みにするかどうか、しっかり出してもらっていただいた方がいいかなど。是非、お願いをしたいと思います。

よろしいですかね。この件については。

よろしければ、次に移りたいと思います。

それでは次に、田原市ふるさと教育取り組み方針について、事務局から説明をお願いします。

(中央図書館長から (2) について説明)

(市長)

ありがとうございました。今、ふるさと教育への取り組み、姿勢を含めてお話がありましたけれど、これにつきまして、ご意見、ご質問がありましたらお願いしたいと思います。

積極的にいくんだという考え方でありますけれど、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

たぶん、皆様方も同じ意見であろうと思っています。ふるさとは、いろいろ定義もありますが、住んでいけばふるさとだ、ということもありますので、是非、ふるさと教育に力を入れていって欲しいと思っています。

よろしいですかね。

ご意見、ご質問もないようですので、次に移りたいと思います。

それでは、次の報告事項に入りたいと思います。プリンストン市へのALT派遣要請及び福江高等学校の国際交流について、事務局から説明をお願いします。

(学校教育課長から報告)

(市長)

ただいま説明がありましたけれども、プリンストン市へのALT派遣要請、そして、福江高校の学校間の交流という2つのことで、教育長さんに行ってもらうんですけど、ご自分の気持ち等、言ってください。

(教育長)

今まで、JETのALTは、2人のうち1人ということでした。3年がJETのALTの切れ目ですので、この時に、小学校の英語教育も本格実施が本年度始まって、英語教育をどうやっていくかという視点と、国際交流面も含めて、さらに強力に中学校への連結も含めてやってもらうことが必要かなと思います。従って、是非、意欲のある方をお招きして、友好関係もあるそういう思いの中で、子どもたちに英語を伝えてもらえれば良いかなと思っています。そのためには、私が直接、向こうへ行って熱意ある口説きをして、プリンストン市から第1号ALTとして良い人材を、ということをお願いして、それがまた長く続くよう、トップランナーを招致できたらなと思います。

併せて、福江高校の方も、今、田原市の福江中学校と連携型の中高一貫教育をやっています、おりしも観光ビジネスコースも始まり、国際環境にも慣れていって意欲的に英語を学ぶ、あるいは、国際交流に貢献すると、そういう心構えを作ってもらえたらな、と。福江高校には福江中学の子が進んでいきますので、そういう面では、市としては、高校にも支援と言いますか、つなぎをしていきたいということで、ある意味、使命感をもって、福江高校とプリンストン市との架け橋になるような役割ができたかなということです。

今回、ダブルの架け橋なんですが、教育委員会とプリンストン市、また、もちろん田原市ということと、それから高校とプリンストン市の高校との架け橋になれたらと感じております。市長からも全面的なバックアップをいただいておりますので、限られた時間を精力的に使って、強く前へ進めていきたいと思います。また、何かありましたら、ご質問いただければということをお願いします。

(市長)

JETプログラムの話で、これで切ってしまったという事なんですよ。初めて切ったんですね。何か、向こうから言ってこなかったですか。

(学校教育課長)

まだ、ないです。

(市長)

そうですね。実は、JETプログラムができた時、一番最初から手を挙げているのは田原なんですよ。それが、田原が切れるので何か言われるかなと。別に言われてもいいんですけど。交流先からALTを招くということは、それは一つ違う意味での交流がプラスされるのでいいのかなと思っています。

ご意見ありませんか。よろしいですか。

是非、教育長にはお願いして、何とんでも福江高校との友好関係を結んでもらいたいなど。

向こうで検討はしていると思います。去年の段階から言っておりますので。この間、来られたんですね。

(教育長)

この、備考にありますね、一番上に。プリンストン市から海外交流生を受け入れている時に、15歳を中心とした高校生と共に、商工会議所と議員さんも同行しましたので、そこでも、市長からの親書、福江高校からも親書を出して、持ち帰ってもらって、話し合いをしていただくように強くお願いしたところです。ちょっと心配するのは、夏休み期間中で向こうの審議がどれだけ進んでいるかという部分です。感触が得られないので、特に今回は、その辺の感触を受けながら、さらに熱意を表明して、できるだけ良いお返事を引き出したいなという狙いです。

(市長)

アメリカは、9月1日で学期が変わるんですね。

(教育長)

8月の終わりから新学期が始まる場所もあります。州によって。

(市長)

ちょっとわからないんですね、微妙なところで。8月20日というのが、向こうが忙しくて話ができないのでは困りますが。

(教育長)

この間行った時には、8月のこの辺からは学期が始まっていると。私の都合もありますが、ここならということで行ってまいります。

(市長)

わかりました。

どなたか、ありますか。よろしいですか。

ないようですので、その次に進めていきたいと思います。

その他ですが、事務局で何かありますか。

(企画部長)

ございません。

(市長)

では、委員の皆さんから何かございますか。よろしいですか。

それでは、大変ありがとうございました。

本日の議事は、これで全て終了です。第1回目の総合教育会議を終了したいと思います。

今日は本当にありがとうございました。

(閉会 午後3時4分)